

Q1.御社の会社概要や沿革についてお伺いできますでしょうか。

当社サカイキャンピング株式会社は、大正元年の創業で、今年で 112 年目の会社になります。元々は隣町の高野口町というところが創業の場所として、高野山の入口にある街の中に会社があって、そこで昔、紀の川を渡るのに舟で渡していたんですね。

大正時代、明治から大正にかけて、そこで参拝される方が、その船着き場に集まるので、その方々に向けて飲料を提供したというのが創業の一番最初のきっかけというふうに聞いています。

Q2.御社の企業理念や将来ビジョンについて教えていただけますか。

当社の経営理念として「安全・安心」というのが一つ、その次に「信頼・信用」、そして最後に「目線をかえてもう一步前に」という、この3つの理念があります。

飲料会社ですので、「安全・安心」はもちろん、いろいろな方に飲んでいただけるようにということが一つと、我々だけでは仕事は成り立たないと思っていますので、仕事上の関係者であったり、従業員の家族であったり、そういったところに「信頼・信用」をいただけるようにということと、あと「目線をかえてもう一步前に」というのがありまして、他の飲料会社と同じことだけをやるのではなくて、我々にしかできない、については個人に従業員一人一人が周りとは少し違う目線で一步踏み出して、新しいことにもチャレンジしていこうと。そういった意味で、この3つの理念を掲げています。

「飲み物のロマンを伝える」というのが我々の会社の頭についていまして、将来的にもいろいろな多角化というよりは、飲料に特化して突き詰めてやっていきたいなど、そういうふうに思っています。

Q3.続きまして、御社の特徴や強みについてお聞かせいただけますでしょうか。

特徴としては、清涼飲料の製造工場がメインの会社になっています。他社と違うところとしては、大きな製品をたくさん作るというよりは、小さいロットでいろいろな品種を作れるところに強みを感じています。例えば、大手さんでは製造しないような小さなロット、例えば地方の特産物を生かした、その地域でしか売っていない農産物を飲料にして、その地域だけで販売してもらったりとか、大手にはできない製品の開発や生産に強みを見出して活動しています。

Q4.御社ではどのような製品を製造されていますか。

清涼飲料の生産全般にはなるんですけども、特に最近はペットボトルの生産が多くなってきています。かなり生活に身近にペットボトルの飲料が浸透してきていますので、ペットボトルの受託生産というところに力を入れて活動しています。

Q5.御社ではどのような会社を目指していますか。

創業から 112 年ずっと和歌山の紀北地区で仕事をさせてもらっていますので、地域の方だったり、従業員やその家族、取引先さんに信頼してもらって、少し言い方に語弊がありますが、関係者皆さんに好かれるような、盛り上げていただけるような、そういった会社を目指して日々頑張っているところです。

Q6.会社経営において心がけていることはございますか。

経営について心がけていることとして、社長として話をするんですけども、いろいろなところに視点を置いて考えるようにしています。

経営目線だけではなくて、例えば生産現場から見てどう見えているかとか、消費者さんから見てどう捉えられるか、販売者さんから見てどう捉えられるかというふうな形で、いろいろな視点から物事を考えるように心がけています。

Q7.社員の皆さんのために心がけていることはありますか。

いろいろな視点で物事を考えるということにつながっていくとは思いますが、仕事をしている従業員さんだけでなく、その家族の方々から見て、どういう形の会社が理想かというの考えながら、日々行動しています。

例えば定年まで長くしっかりと仕事をしてもらえる(ということについて)、若いうちは体も動きやすいんですけども、だんだん年齢とともにやれることも変わってきますので、シニアになっても活躍できる場を作ったりとか、いろいろな部署でいろんな仕事を幅広く持って、長く勤められるような形で対応していきたいなというふうに思っています。

Q8.社員の福利厚生において力を入れている点について教えていただけますか。

福利厚生については、食堂に置食という形でコンビニみたいな冷蔵庫を置いて、そこに食事があって、自分でバーコード決済して食事できるような環境を作っています。その中身についても、できるだけ健康を害しないような、加工食品じゃないものを選定して、できるだけ健康に食事してもらえるような環境を整えています。

あと一番力を入れているところとしては、退職後長く勤めていただいて、定年であったりとか、退職後も将来のための企業年金基金であったりとか、確定拠出年金であったりとか、若いうちはまだそこまで考える方は少ないと思うんですけども、退職後の生活においてもフォローしていきたいなと思っています。

会社の規模からすると、あまりやっているところ、そこまでやっているところは少ないかなと思うんですけども、老後の資金の部分について、今、金利もいろいろな状況が変わってきていますので、退職後も安心して生活できるようなことに取り組んでいっています。

Q9.社員の男女比率についてお伺いできますでしょうか。

従業員全体で 75 名です。75 名のうち 19 名が今、女性というふうな比率になっています。男女の比率が近い方がいろいろな意見がでやすいと思っていますので、なるべく近づけたいなと思っていますが、どうしてもやはり生産現場の従業員の数が多いので、このような現状になっています。

Q10.どのような人材を求めていますか。

社会人全般、どこにいても同じことを言われるかもしれませんが、やはり主体性を持って行動できるというところが一番重要かなと思っています。決められたことを決められたとおりにするだけじゃなくて、それに対して何故そういうふうになっているのかとか、それに対して採用されるされないは別として、やっぱり意見を出せる人、合っても間違ってもいいので、まず手を挙げて意見をしてもらえという人。(できるだけそういう意識を)持ってもらえると、会社もいろいろな意見が出て良くなっていくかなと思っています。

Q11.将来の事業展開としてどのようなものを想定されていますか。

会社の上に「飲み物のロマンを伝える」というタイトルがあって、やはり飲み物に特化して突き詰めていきたいなと思っています。

飲料の業界は大手さんがたくさんいる中で、我々みたいな中小企業がどうやって輝いていくかというところで、我々にしかできないことがまだまだたくさんあると思っていますので、飲料に特化して深掘りして、今 112 年目になりましたけれども、この先 200 年、300 年と続けていけたらなというふうに思っています。

Q12.学生や若手社員に対する期待やメッセージをお願いします。

学生さんに向けては、特に就職活動をされている方。今はインターンシップとかでいろいろな会社を見る機会ができていますので、できるだけそういったものを活用して、いろいろな会社を見て、自分に合った仕事をきっちり選んで、マッチできる会社を選んで、しっかりとその道に進んでもらいたいと思います。

我々としても、できるだけ情報を発信して、できるだけみんなに見てもらえるような形で会社の中もオープンにして、若い方にぜひ来ていただけたらなというふうに思っています。

若手社員に関しても、今までがこうだからということではなくて、まずは手を挙げて声を出せる、そういう環境にしていきたいなと会社も思っていますので、ぜひ違う意見を言ってもらえたらなと思っています。